



ヒバクシャ地球一周 証言の航海

Global Voyage for a Nuclear-Free World -
Peace Boat Hibakusha Project

PEACE
BOAT

International NGO in Special Consultative Status with the Economic and Social Council of the United Nations
B1, 3-13-1 Takadanobaba, Shinjuku, Tokyo 169-0075, JAPAN
TEL : 81-3-3363-7561 FAX : 81-3-3363-7562 pbglobal@peaceboat.gr.jp <http://www.peaceboat.org>

第2回 『ヒバクシャ地球一周 証言の航海』

プロジェクトの概要と主な成果

- クルーズ 第67回ピースボート「地球一周の船旅」
- 期 間 2009年8月27日(木) 横浜発
～ 2009年12月11日(金) 横浜着 計107日間
- 使用客船 オセアニック号 総トン数:38,772トン 全長238,4メートル
- 旅行企画・実施 株式会社ジャパングレイス
- プロジェクト通称 おりづるプロジェクト
- 参加被爆者 10名 (内訳 広島被爆6名、長崎被爆4名)
- 参加高校生 3名
奥美咲 (高校2年生) 神奈川県在住
下村優太郎 (高校2年生) 東京都在住
田中直人 (高校2年生) 愛知県在住
- 概要と成果
証言交流を行った団体: 26団体
記者会見 : 6回
平和市長会議加盟 : 4都市 チリ市(トルコ共和国)、マンタ市(エクアドル)
モンテクリスティ市(エクアドル)、ポルトビエホ市(エクアドル)
メディア : 新聞28紙以上 テレビ4社以上
届けた「おりづる」 : 約8000羽

●参加した被爆者の略歴

石橋千鶴江（いしばし・ちづえ） 被爆地：広島、68歳

被爆当時は4歳で、母親の実家の白島に身を寄せていた。8月6日の朝早く祇園に行っていて助かった。しかし、姉とその子ども達は2～3週間の内に次々と亡くなった。毎年平和行進のお手伝いをしている。

大崎静子（おおさき・しずこ） 被爆地：長崎、69歳

被爆当時5歳。爆心地4.6kmにて被爆。長崎を訪れる修学旅行生にホテルで被爆体験を話す。在外被爆者（韓国）への支援活動についても話す。毎年、8月9日に平和祈念日に向けて小中学生に平和学習を行う。

大野允子（おおの・みつこ） 被爆地：広島、77歳

女学生の時に被爆。子どもを対象にした児童文学を多く手がけ、広島を舞台とした作品を書き続ける。

小西伸一（こにし・しんいち） 被爆地：長崎、69歳

爆心地から4kmの大浦天主堂にて被爆。修学旅行・ボランティア観光ガイドなどで平和学習を促進。小学校・子ども会・公民館などで原爆の語り部をして活動。キリスト教信者としてのメッセージをもつ。

田邊俊三郎（たなべ・しゅんさぶろう） 被爆地：広島、84歳

20歳の時に被爆。NPT再検討会議・要請団に参加。ヨーロッパ、アメリカなどで遊説。アウシュビッツ交流遊行会に参加。調布市被爆者の会、東京都被団協。

長曽我部久（ちょうそがべ・ひさし） 被爆地：広島、73歳

熊本市原爆被害者の会。熊本被団協。平和美術展への出展や被爆体験トークを企画。

新見博三（にいみ・ひろぞう） 被爆地：広島、70歳

6歳に爆心地より1.7kmでの被爆。高校・大学教職員として勤務。ヒロシマピースボランティアとして活動している。

西岡洋（にしおか・ひろし） 被爆地：長崎、77歳

1994年ソウルで行われた韓国人原爆犠牲者追悼式に参加。1996年Abolition2000に参加し、アメリカで各地で被爆体験を語る。

計屋道夫（はかりや・みちお） 被爆地：長崎、71歳

8歳で被爆。長崎の高校教員として36年間勤める。各学校で被爆体験を語る。カナダ友好協会の一員として、カナダの子ども達に平和を訴える。

藤井節子（ふじい・せつこ） 被爆地：広島、63歳

母親の胎内での被爆。被爆当時の記憶は無いが、若い被爆者として今後の証言活動の継承を模索したい。

●旅 程 19カ国20寄港地を訪問

- ・9/2 ダナン【ベトナム】
枯れ葉剤被害支援センター訪問
- ・9/6 シンガポール
GPPAC(紛争予防のためのグローバルパートナーシップ)東南アジアグループとの共同記者会見
- ・9/16 ポートビクトリア【セイシェル】
地元平和・人権・環境NGO代表者と船内証言・交流会
- ・9/19 モンバサ【ケニア】
モンバサ市庁舎に訪問し、市議会場にて地元高校生に向けて証言・交流会
- ・10/2 ポートサイド【エジプト】
カイロにてエジプト地雷被害者支援NGO(地雷被害地域を支援するアラブ協会)と証言会。
駐エジプト日本大使も出席。
- ・10/5 イズミル【トルコ共和国】
チリ市役所訪問・平和市長会議への加盟要請。署名式後、記者会見。
- ・10/6 ピレウス【ギリシャ】
日本・ギリシャ協会と協働し、地元孤児院と小学校にて証言交流会。
- ・10/8 ドブロブニク【クロアチア】
国内避難民・難民女性サポート団体と証言交流会。ドブロブニク市長による船訪問と船内記者会見。
- ・10/10-12 チビタベッキア【イタリア】
10/10:ローマ市庁舎にて証言集会
10/11:バチカンにて列聖式に参列。ローマ教皇からメッセージを頂く。
10/12:地元NGO(聖パオロ共同体)にて証言・交流会。小学校にて証言・交流会。
- ・10/19 ラスパルマス【カナリア諸島】
ヒロシマ・ナガサキ広場(憲法9条の碑)を訪問。テルデ市議や地元高校・職業学校と共にセレモニー。
- ・10/28 バハマ【キューバ】
ICAP(キューバ諸国民友好協会)と共同証言集会。エルネスト・チェ・ゲバラさんの娘さんアレイダ・ゲバラさんと会合。タララ・チェルノブイリ原発事故治療養所に訪問。
- ・10/30 マンタ【エクアドル】
『核と外国軍事基地廃絶のための平和国際会議』に参加。マンタ市、モンテクリスティー市、ポルトビエホ市の平和市長会議加盟署名式典を行う。首都キト大統領府を訪問し、リカルド・パティーニョ政治調整大臣やフェルナンド・コルデロ国会議長など、7名のエクアドル政府高官と面会。
- ・11/9 カヤオ【ペルー】
リマにてペルー日系協会を訪問、日系1世の方たちと交流会。貧民自治区ビジャ・エルサルバドルの地元NGOアレナ・イ・エステラスにて証言交流会。現地のテロ被害者の証言も伺う。
- ・11/25 パペーテ【タヒチ】
核実験被害者支援団体(ムルロア・エ・タトウ)と船内にて証言・意見交換会。
- ・11/29 アピア【サモア】
サモア沖地震津波被害を視察。地元NGOメンバー代表との証言会。

《この他の寄港地》

マラガ(スペイン)、イースター島(チリ)、カサブランカ(モロッコ)、プログレソ(メキシコ)、クリストバル(パナマ)

●船内での活動

(1) 主な証言、講座、ワークショップ

- 「ヒバクシャと語ろう」(9/5)
- 「いまさら聞けない! 超初級・核問題」(9/3)
- 「私の10代、ヒバクシャの10代」(9/9)
- 「さまよえる楽園 マーシャル諸島の核実験」(9/10)
- 「アメリカ被曝兵士の告発」(9/11)
- 「オセアニック平和資料館」(9/22 9/30) (10/21 10/27) (12/3 12/5)
- 「おりづる高校生 最終発表会」(9/30)
- 「知っておこう広島原爆のすべて」(9/12)
- 「今、明かされる長崎原爆の真実」(9/13)
- 「若いヒバクシャが語りだす理由」(9/25)
- 「二十歳の被曝体験」(9/27)
- 「PEACE NIGHT」(9/30)
- 「1945 広島少女たち」(10/24)
- 「サダコと折り鶴」(10/31)
- 「千羽鶴は西へ飛ぶ エクアドルにおける平和のための折り鶴」(10/31)
- 「原子力に未来はあるのか?」(11/8)
- 「ポリネシアの核実験」(11/20)
- 「在外被曝者 被曝者はどこにいても被曝者だ」(11/26)
- 「原発って何が問題?!」(11/27)
- 「核の力 イギリスの場合」(11/30)
- 「原爆詩人 峠三吉の世界」(11/31)
- 「原爆と長崎のクリスチャン」(11/21)
- 「イギリスの核軍縮 今がチャンス!」(12/4)
- 「おりづる Day - ヒバクシャからの贈り物 -」(12/5) など

(2) 若者「おりづるパートナー」らと共に「おりづる Day ヒバクシャからの贈り物」を開催

- 「すこし昔、広島少女たち」
- 「若者に伝えたいこと」
- 「おりづるはどこを飛んできたのか? ヒバクシャ地球一周 証言の航海」
- 「原発って本当に必要なの?」
- 「きのご雲の上とその下の人々 原爆投下をめぐる「記憶」の違い」
- 「千羽鶴を作ろう」
- 「平和の歌」
- 「広島詩を読む」
- 「平和市長会議って何? 平和な町、作れちゃうかも」
- 「継いでいくもの 私たちにできること」

(3) 多彩な水先案内人/ 国際奨学生

◆ミナール・ピンブル Minar PIMPLE 「国連ミレニアムキャンペーン」アジアディレクター

◆鎌田慧 KAMATA Satoshi ルポライター

◆前田哲男 MAEDA Tetsuo 軍事ジャーナリスト

◆ネナド・フィッシャー Nenad FISER ICTY(旧ユーゴ国際戦犯法廷) 法廷調査員／哲学者

◆太田昌国 OTA Masakuni 現代企画室編集長、ラテンアメリカ研究家

◆オリガミスタ Origamistas エクアドルの折り紙クラブ「キト・デ・パペル」のメンバー

※このクラブは子どもたちに折り鶴を教えるを通じ、ヒロシマ・ナガサキの歴史を伝えるなどの平和活動を広げている。

◆アナ・ソフィア・ピネード Ana Sofia PINEDO NGO「アレナ・イ・エステラス」ディレクター

◆ガブリエル・テティアラヒ Gabriel TETIARAHÍ 先住民人権活動家／「ヒティ・タウ」創業者

※1996年に南太平洋のフランス核実験を止めた抗議活動では国際的なリーダー。

《その他の取組》

■GPPAC 武力紛争予防のためのグローバル・パートナーシップ

2001年、国連のアナン前事務総長が「21世紀は、紛争を解決していく時代ではなく、予防していく時代にするべきであり、市民社会こそがその役割を担う存在だ」と述べました。これに応じて発足したNGOの国際ネットワークがGPPAC(Global Partnership for the Prevention of Armed Conflict = 武力紛争予防のためのグローバルパートナーシップ)

■韓国・聖公会大学 IS (国際奨学生)

■ドイツ・チュービンゲン大学 IS (国際奨学生)